



住まい南側にはダイニングから出られるデッキテラスを設けて寛ぎの場に。子ども達が走り回る芝生の庭は道路から奥まっているので、視線や車の往來を気にせずに過ごせる

アーチの壁で空間をゆるやかに分けたLDK。キッチンには南フランスをイメージして明るくポップに、対してリビングはイギリスアンティーク家具が主役の落ち着いた空間と雰囲気を変えている。床材も、無垢フローリングと水拭きしやすいテラコッタ風タイルに貼り分けてメリハリをつけた。1階の天井高は、ご主人の希望で通常より30cm高くしてゆったりと。キッチンは壁付けカウンターでスペースを節約し、ダイニング側に木製チェストを作業台として設置

時代を超えて受け継いだ アンティーク家具を楽しむ色彩豊かな家

奥さまが選んだペイントやタイルを背景に、
両親から受け継いだアンティーク家具が映える家。
思い出の家具と共に、新しい思い出が刻まれていく。

KEY POINT ▶ 大胆な色使いと豊かな素材 ▶ アンティーク家具とアート ▶ 便利なキッチンと回遊動線



「両親が集めるイギリスのアンティーク家具やアートを身近に育った奥さま。ご自身の住まいでもヨーロッパのような雰囲気を思い描き、工務店選びはデザイン性を重視した。ご夫妻で10社以上回ったが、「デザインが気に入っても予算で断念することも多く。宮田工業は輸入住宅のような家が自由設計でできるうえ、価格も良心的でした」とご主人。依頼の決め手は、担当の村山さんの真摯な対応だ。「妻の妊娠もあり、工務店決定に3年以上かかったんです。その間ずっと気にかけて、連絡をくれたのは村山さんだけ。信頼できると感じました」。

室内に入ると、奥さまが選んだタイルや塗装の豊かな色彩と素材感、そこに調和する重厚なアンティーク家具に目を奪われる。家具の多くは奥さまのご両親から引き継いだもの。あらかじめ配置を考えて間取りを決めたため、空間にしっかりとなじんでいる。古いドレッサーを洗面台に生まれ変わらせたり、奥さまが幼い頃使っていたデスクを息子さんが引き継いだりと、本当に良いものは時代を超えて受け継がれることを教えてくれる。

LDKで印象的なアーチ状の壁は、「空間はつなげたいけれど、キッチンはポップに、リビングは落ち着いた空間にと雰囲気を変えたい」という奥さまの希望から設計。動線も工夫し、玄関から洗面室、キッチンと行き止まりなく回遊する動線や作業台中心のオープンキッチンなど家事効率は抜群。思い出の家具と共に、家族の成長を見守る住まいだ。



アンティーク家具に
好きな色と素材を組み合わせて
世界にたったひとつの家に

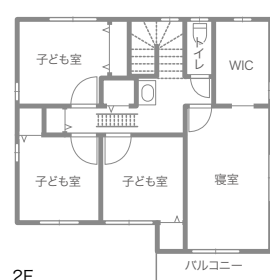
1 システムキッチンには奥さまが好きな深紅をセレクト。水はぬしやすい壁は天井までモザイクタイルで統一し、色を切り替えて楽しんでいる。壁面のニッチは調味料入れで、宮田工業の見学会で奥さまがひと目惚れしたデザイン 2 階段下のスペースを活かした1階の洗面カウンター。コンパクトだからこそインパクトのある素材に挑戦し、アンティーク風のモザイクタイルと柄壁紙、デコラティブなミラーや照明を組み合わせて遊んでいる 3 玄関ホールから洗面室、奥のキッチン、さらにリビングまで回遊できる効率的な動線 4 壁付けカウンターと壁面の造作棚を組み合わせて、収納量と低コストを実現したL字型キッチンは、最小限の移動で作業できる。左手のイケアの木製チェスト上部も作業スペースで、料理好きな奥さまはここでパンやケーキ作りを楽しんでいる

nagano no ie
15

HOUSING DATA
 家族構成 / 夫、妻、長男、長女、次女
 施主 / 30代・会社員
 施工会社の検討期間 / 約38カ月
 検討した会社数 / 4社
 工期 / 約4カ月
 竣工 / 2014年7月
 構造・工法 / 2x4
 建築費 / 2,000万円台 (建物のみ)
 土地 / 新規購入 (約66.40坪)
 延床面積 / 114.27㎡ (34.57坪)
 1F / 58.79㎡ (17.78坪)
 2F / 55.48㎡ (16.78坪)
 設計 / 宮田工業一級建築設計室
 施工 / 宮田工業株式会社 / ブルースジャパン
 MIYATA
 ☎026-283-8855

関連情報 P288

5 長女と次女の部屋はピンクがテーマカラー。将来的に間仕切り壁を立てることを想定し、壁一面をベビーピンクの壁紙でアクセントウォールとしつつ、ふたつのドアは異なる色で塗装。色は現場で調合し、微妙なニュアンスを表現した 6 長男の部屋は壁やドア、ベッドリネンまでグリーンでコーディネート。勉強机は奥さまが子どもの時に使っていたもの。年月を経た木の優しい表情が鮮やかなグリーンに調和 7 玄関ホールからLDKに続くステンドグラスが美しいドアは、ご両親から受け継いだアンティーク。もともと玄関用だったものをリペアし、レバーハンドルを付け替えて住まいの顔に 8 物語に出てくるような三角屋根が印象的。屋根と窓飾りは奥さまが選んだ深紅で統一し、白い外壁とツートンカラーに。個性を放ちながらも住宅街の景観に自然と調和する佇まいのK邸 9 シンメトリーに配置した窓とミラーがクラシカルな雰囲気のリビング。重厚なテーブルや左手のチェストはご両親から受け継いだイギリスのアンティーク。飾った人形やスピーカー、時計にも家族の思い出が詰まっている 10 2階の洗面カウンターは、アンティークドレッサーの大理石天板を丸くり抜いてリメイク。ご夫妻の依頼で宮田工業が職人を手配し、見事に生まれ変わらせた



3F(収納)

